

19m01 概念系統図

教法m第1回概念・確認(2班614001○○○○)

板書: 提示・説明
要点整理
思考活動促進

板書
スタイル

板書
内容

書き
方

体系的板書

構成的板書

表現的板書

テーマは
必ず

テーマの
要点・整理

授業内容の
要点

進行しなが
ら
全体像

発言の要点

どの段階で

どこに

何色

大きさ

体系的

整然

集団思
考

適切配
置

つなが
り

根拠

発言
触発

立ち位置

スライ
ド・模造
紙

ノート指
示

概念系統図の作り方

- 班の課題について、10～20程度のキーワードを班で設定
- 他の班の課題について、復習として、概念系統図を作ること
- パワーポイントで、挿入→図形で枠を選び、スライドに配置
- 配置した枠を右クリックし、テキストの編集を選び、キーワード入力
- 挿入→図形で  を選び、系統図作成
- 演繹(結論と推論)、帰納(結果と原因、類推と分類)、構造(ものと要素)などの原理に沿って、系統図を作成
- ピラミッド構造(1上位概念に3程度の下位概念)で整理
- 提出は次の日曜日の23時59分59秒まで
- ファイル名は「教方m第1回概念・確認01(2班614001〇〇〇〇)」

確認問題

- 学び続け、学び合う教師の2つの面を上げよ。
[A]反省的实践家の面と技術的熟達者の面
- 教材研究の基になる研究力量の要素を3つ上げよ。
[A]課題設定、資料収集・分析、考察・論述・発表
- 「これからの学校教育を担う教員・・・」で上げられた
の新たな課題例とそれに対応する資質を述べよ。
[A]課題例は、アクティブラーニング等の授業改善
とICTの活用。
それに対応する資質は、チーム学校として、組
織的・協同的に課題解決に取り組めること。